

2020.

2/8 (土)

13:30 Open 14:00 Start

仙川フィックスホール

SENGAWA FIX HALL

イザイ：マズルカ no.1 遠い彼方より

Ysaÿe : Mazurka no.1 (Dans le lointain)

エルガー：ヴァイオリンとピアノの為のソナタ op.82
愛の挨拶

Elgar : Sonate pour violon et piano op.82 , Salut d'amour

ドヴォルザーク/クライスラー：スラヴ舞曲 第2番

Dvorak/Kreisler : Slavonic Dance no.2

プーランク：ヴァイオリンとピアノの為のソナタ

Poulenc : Sonate pour violon et piano

クライスラー：ジプシーの女

Kreisler : La gitane

ドビュッシー：美しい夕暮れ

ゴリウオーグのケーキウォーク

Debussy : Beau Soir , Goodiwogg's Cakewalk

グラズノフ：

バレエ音楽《ライモンダ》op.57より“Grand Adagio”

Glazounov : Grand Adagio from "Ballet Raymonda"

ニーン：イベリア狂詩曲

Nin : Rhapsodie Iberienne

※曲目、曲順は変更する場合がございます。

阿藤果林&小森芳子

Karin Ato, violin and Yoshiko Komori, piano

デュオ リサイタル

Dans Le Lointain～遠い彼方より...

チケット(全席自由・税込) 一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

※入場の際、年齢のわかる身分証等の提示をお願いする場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮願います。

お問い合わせ・チケットお申込み：

阿藤果林&小森芳子デュオ リサイタル事務局 duoconcert.080220@gmail.com

Karim's photo by Shigeo Umata



東京都調布市仙川町1-25-2
仙川アヴェニュー北プラザ 2F
(京王線仙川駅より徒歩5分)

仙川
フィックスホール

042-370-1844

阿藤 果林

Karin Ato, violin



米国 アナーバー生まれ。3歳よりスズキ・メソッドでバイオリンを始め、日本帰国後 久保陽子、故小国英樹の両氏に師事する。

東京音楽大学付属高校を卒業後、ジュリアード音楽院に入学、故ドロシー・ディレイ氏及び川崎雅夫氏に師事する。しかし兼ねてから深く関心を抱いていたフランス文化 フランス音楽への思いが募り、渡仏を決心する。リヨン国立音楽院に入学しジョン・エストーネ氏、森悠子氏に師事する。同音楽院をバイオリン、室内楽共に首席で卒業後、パリ国立高等音楽院第3課程(大学院)に進みジェラルド・プレ氏のもとで研鑽を積む。

2000年フランス国立放送交響楽団に入団。2003年にパリオペラ座管弦楽団のコンサートマスターに就任し、そのソロの音色の美しさ及び洗練されたテクニックで同座のオペラ及びバレエ公演を支えている。2015年にはパリ オペラ座バレエ団とのコラボレーションでツアーに参加し、オーケストラピットの中だけでなく舞台上でもソリストとして活躍。またオペラバスチーユ、ガルニエ宮での室内楽演奏会に定期出演している。

オペラ座での活動に加え、ランス音楽祭、ヴェゼール音楽祭、オペラ・カトリュー、ロワール・ロマンティック・フェスティバルなどに招待されデュオ、カルテットなどで好評を博す。

またニーム音楽祭におけるバッハのコンチェルトなどの指揮ソロ、フランス放送交響楽団の客演コンサートマスターを務めるなど高い評価を得る。

フランスを中心にソロ、室内楽などでコンサート活動をする傍ら、オスティナートオーケストラ、オペラ座オーケストラアカデミーなどで後進の指導にも力を入れている。

全日本学生音楽コンクール高校の部1位など数々の入賞を経て、1999年エルネスト・ショーソン国際コンクール優勝合わせてスペディダム賞を受賞する。2000年、ニコロ・パガニーニ国際コンクールで3位を受賞する。

使用楽器:1782年製 ジョゼフ・ガリアーノ

小森 芳子

Yoshiko Komori, piano



東京生まれ。桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学を卒業。兼松雅子、多喜靖美、平尾はるなの各氏に師事。1997年渡仏。室内楽に魅せられブルーノ・カニーノ氏に学ぶ為、ベルン芸術大学(スイス)にて修士課程ピアノ科修了。その後パリ国立高等音楽院にて修士課程室内楽科を卒業。C・イヴァルディ、A・ムニエ、A・フラメールの各氏に師事。在学中にLegYang賞受賞、またソシエテジェネラル財団およびメイエ財団より奨学金を授与される。2001年G・ジネッティ国際室内楽コンクール(イタリア)第2位受賞。

伴奏者としての活動も多く、2001年よりパリ国立高等音楽院にてG・ビュッケ(チューバ)、I・モレットティ(ハープ)、H・ドゥヴィルヌーブ(木管楽器初見)の各クラスのピアニストを務める。その他2007年国際ホルンシンポジウム、ラ・ショードゥフォン国際ホルンアカデミー(スイス)、フランス国立管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団などの公式ピアニストも定期的に務める。

またソリスト、室内楽奏者としてシャンゼリゼ劇場、シテ・ドゥ・ラ・ミュージック、アンバリッドをはじめとしてヨーロッパ、日本各地での演奏を行う。

共演する演奏家はS・ガゾー、F・クラマジラン、古澤巖、渡邊ゆづぎ、阿藤果林(Vn)、A・ムニエ(Vc)、M・ルティエック(Cl)、P・ピエルロ(Fl)、B・シュナイダー、H・パウマン(Hr)、D・ワルター(Ob)、S・ラベリ(Tuba)と多岐にわたる。

NHK、Mezzo(フランス)等のテレビ出演も数多く行う。

後進の指導にも携わり、フランスではフレーヌ国際音楽アカデミーに於いて2015年より毎夏ピアノの教鞭を取る。